

# これからも輝きたい あなたのための化粧品

いつまでも魅せてくれる肌。これからも健やかな毛髪。

## LABOINA *stem*

ラボイーナ ステム

### 肌を生き生きと魅せてくれる 美容トリートメント

美顔用に、ホウレイ線、目じり、額、首の気になるところだけではなく、年齢肌、表情線などのスキンケアに適しており、より若さを楽しみたい方のための「アンチリンクル」化粧品。

長年の研究において皮膚の再生を促すことが欧州の公的機関で実証されており、欧州の薬局において、専門的に販売されています。

保湿、ハリ、艶など、凛とした若さを取り戻すお手伝いをします。



## CRESCINA *stem*

クレスチーナ ステム

### 健やかな毛髪を保つ 化粧用途の健毛剤

若さを再び実感したい方のための特別な「髪がうるおう」化粧品。オリジナルフォーミュレーションが秘めた可能性を引き出し、新しい自分に出会えるはず。

長年に渡る研究において頭皮・頭髪の潤いを促すことが、欧州と米国の公的機関で実証されており、欧州の薬局では専門的に販売されています。またドイツにおいては、その実力を高く評価されています。

## プラントステムセルとは…

ひと言で言えば植物の細胞。ですが、このままだとプラントセルではありません。セル（細胞）の中でもステムセル（Stem cell）は日本語で言うと幹細胞。

辞書によると…

《Stem cell》 【幹細胞】

発生の過程や、臓器・組織・器官の再生・維持の過程で、細胞を供給する元となる母細胞のこと。別の組織細胞に変化する能力と、分裂しながら同じ細胞を作り出す能力とがある。

つまり、幹細胞とは細胞のお母さんという事になり、プラントステムセルとは『植物の細胞のお母さん』と言えます。

植物と同様に人間をはじめとする全ての動物がステムセルを持っており、この細胞から私たちの体は形作られています。

言い換えれば、幹細胞が元気だったら私たちはずっと元気という事になります。しかし、人間の細胞は加齢と共に衰退し、いつまでも元気でいてはくれませんよね。



## 人の幹細胞との違いは？

プラントステムセルは植物の幹細胞である事がわかりました。ところで、人の幹細胞とはどう違うのでしょうか。

人間の幹細胞との大きな違いは、成熟した植物も“どのような組織の細胞にでもなり得る”分化万能性の幹細胞を持つことです。

つまり各細胞が新しい葉や花などの器官、もしくはその植物全体を成長させる能力を持っており、非常に増殖活動が盛んであるということです。そして、タンパク質、脂質、炭水化物、無機質といった、生命に不可欠な物質を含有しています。

樹齢何百年という老木も、生きている限りは青々とした若葉を芽吹きます。折れた枝からでも、挿し木をすれば水につけた部分から根が出てきます。

これは植物の持つ分化万能性の幹細胞のおかげなんです。



## LABO 社製品では

植物種リンゴと植物種フサフツギ由来の、2つのプラントステムセルを使用しています。リンゴ種由来のステムセルには、表皮・真皮等の細胞の再生とその自己再生能力を助ける働きがあり、フサフツギ種由来のステムセルには、皮膚細胞を酸化のダメージから守る働きがあります。

また、これらのステムセルに、第三の分子であるテプレノン配合することで、表皮、真皮、毛包への働きを完遂させ、老化の進行に対処することができます。このテプレノンの主作用として、染色体の先端に存在するテロメアを保護し、細胞の長命化を増幅させる働きがあります。このLABO独自の植物性活性幹細胞の調合剤において、スイス特許を取得しています。



ラボ・コスプロファール社は、主に研究開発をスイス・バーゼルの本社で行い、製造販売の本社機構をイタリア北部のパドバに置く、1989年創業の化粧品会社です。ボディトリートメント、メイクアップ、アンチエイジング、ヘアケアなど、多数のスキンケア商品をラインアップし、世界30カ国で販売されています。

国内総代理・販売元 Green Letter 合同会社 [www.greenletter.jp](http://www.greenletter.jp)  
〒146-0091 東京都大田区鵜の木 1-2-18-404 TEL 03-5741-3071